

夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議 議事要旨

会議名	第4期夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議（第6回）
日時	令和4年9月22日(木)18時30分～20時30分
出席	山中ゆう子、米原立将、安部芳絵、井村良英、千頭和正巳、田中光晴、平野静香、小松佳世子、坂下香澄、園田智恵、佐藤米子、伊東祐也、鈴木正明、葛野智哉 [事務局] 矢ノロ子ども家庭部長、五箇野子育て推進課長、平川、高野 守屋子ども家庭支援センター長、竹内子ども育成課長
欠席	段城孝彦、小畑くるみ、畔田世紀子、黒田淑美、田口美幸、栗原一雄、筒井夢人、松本零、石田千紘、伊藤梓、大河原鳳臥、松村咲
配布資料	「こどもとおとなのはなしあい in 市議会議場」プログラム 「こどもとおとなのはなしあい in 市議会議場」実施状況 グループワークの進め方 第4期夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議（第4回）議事録 第4期夢育て・たちかわ子ども 21 プラン推進会議（第4回）議事要旨
会議場所	立川市役所 101 会議室

1. 「こどもとおとなのはなしあい in 市議会議場」の報告について

- ・ 9月4日に開催された、「こどもとおとなのはなしあい in 市議会議場」の報告を行い、参加者やファシリテーターから参加してみたの感想等があった。

2. 提言書に向けたグループワークについて

(1) 前回の現状把握と課題の抽出に引き続き、今回は課題解決に向けてグループワークを行う。

(2) グループワークでの意見の共有

①子どもの居場所

- 安心できる子どもの居場所は近くにあることが望ましいので、学校や児童館などの既存施設の活用が必要。学習等供用施設や、福祉会館の風呂設備が夕方使えないか。
- 拡充型放課後子ども教室が展開されると毎日開所することで小学生の居場所が確保される。一方、これまでの地域の人との関わりも重要なので、事業者と地域の人との連携を保ってほしい。
- 中高生の居場所としては、Wi-Fi や電源は必要。児童館ではWi-Fi が設置されたので周知を。中学生からかわりを持つことで、居場所の空白を避けられる。
- 若者の声を聞く若者会議の実施。
- 予算が必要。

②子どもの健やかな育ち

- 情報を得るために、市役所等の公共施設に行くのはハードルが高いと感じる市民もいるので、SNS やホームページでの情報発信が充実するといい。
- ヤングケアラーをサポートできるコーディネーターの配置と、ヤングケアラーを見

つける仕組みの構築（セルフチェックや勉強会等）。

③子どもと子どもを育てる保護者への支援

- ▶ 子どもを育てる保護者への支援には妊娠期や産後のケア、幼児教育・保育の充実を含めて予算が必要。
- ▶ 発達障害や、異なる文化、背景を持った子どもへの理解を深めることも必要だが、行政だけでは限界があるのも事実。地域全体で理解を深めていく環境づくりができるとよい。
- ▶ 子どもを持つ前から体の変化や、人間関係や社会生活の変化を知る機会があると、子どもが生まれてから気づいてショックを受けるような事態は避けられるのでは。
- ▶ 保護者を安心させることのできる「お節介な人」を受け入れる土壌が必要。

④子どもを育てやすい環境づくり、地域づくり

- ▶ 孤立・孤独を考えると、安全・安心が子どもを育てやすい環境づくり、地域づくりには大切である。
- ▶ 安心・安全を得るには、お互いが分かり合える、知り合えるなじみが必要。
- ▶ コミュニケーションのハブ、つながりになる人がどこにでもいる状態になると安全・安心なのではないか。

(3) 今回のグループワークのまとめ

- ▶ 共通したキーワードは「安心」。物理的な安全・安心が、心理的な安全につながるがその安全を作るには予算が必要。次期のプランにはよりどころとなる条例が焦点になってくると見ている。
- ▶ 予算化、法的な仕組み、人の確保が重要だが共通の理念は必要。提言では共通の理念や土台が必要。

3. 委員からの報告

- ・ たまがわ・みらいパークより。6月13日から17日までたまがわ・みらいパークキャラバン隊 in 市役所を開催。1,265名の参加。10月23日にはたまがわ・みらいパーク子どもまつりを開催。
- ・ チャイルドラインたちかわより。10月16日に子どもの権利に関する市民公開講座を実施。

4. その他

- ・ 次回会議は10月26日を予定。開催通知は追って送付。